

平成20年第3回日野町議会定例会（3日目）

平成20年3月21日 午前10時 開議

一般質問通告表

通告順	氏 名	質 問 事 項
1	松本 利秋	※ 将来に希望の持てるまちづくりについて 平成20年度予算の編成については、創意工夫され、財政再建に取り組まれており、敬意を表します。 一方で、町民が将来に希望が持てるまちづくりをするためには、将来ビジョンが必要であると思います。 時代は急速に進展しておりスピードが要求されます。 財政再建と同時に町の将来ビジョンを描き、行政（議会）と町民が一丸となって、今こそまちづくりに取り組まなければなりません。 ピンチはチャンスです。窮地のときこそ、いい発想が生まれるものであると確信します。 ①景山町長の肝いりで組織された「日野町まちづくり町民会議」の意見をどのように予算に反映されたのか、また、まちづくりに活かされようとしているのか。 ② 将来ビジョンを描いて、まちづくりをする考えがあるのか。 ③ 9月定例会で、和牛振興について一般質問しましたが、全国和牛能力共進会を契機として、今後の取り組みが重要である。その後の和牛（農業）振興策は。

2	小谷 博徳	※食と環境について 2007 年、2008 年は食の安全を脅かす事件が相次いでいる。 7 月には洞爺湖サミットが環境をテーマに、病める地球環境を救う対策が討議される。 この町の食や環境について、学校現場や町民に対し、意識高揚と啓発の必要性を感じる。 ① 学校給食センターの食材地産地消状況 ② 学校給食センターの食品安全度チェック体制 ③ 学校教育に於ける「食育」の状況は ④ 学校栄養職員の職務内容 ⑤ 「食の安心・安全」を学校教育の中でどう教えているか ⑥ 学校における環境教育の実態は ⑦ 町民への環境に対する意識高揚と啓発の実態は ⑧ この町が目指す環境施策（ゴミ対策・循環型社会）の方向性は
3	宮田 和也	※ 農林業の振興策について 平成20年度の日野町政を推進するに当たり、施政方針を述べられました。住民の生活の根幹であります「安心・安全な町づくり」を最優先に進めるとのことであり、その為には、財政の再建が必要とのことでもあります。 日野町における農林業の現状は疲弊し、振興策は、なかなか見当たりません。 7 月に機構改革と人事異動を考えておられるようだが、農林業の振興に役立つように考えられたい。 1. 農林業の振興について、将来の方向性について ①農産物の特産化について ②和牛の振興について ③農業委員会・関係団体との連携について ④町有財産（森林）の活用について 2. 農地対策について ①遊休農地の現況と今後の見通しについて ②耕作放棄地の現況と今後の見通しについて ③農業振興地域の見直しについて ④農業委員会・事務局体制の確立について

4	中原 明	※ 平成20年度予算について 町長就任以来の町財政再建への奮闘に対しては高く評価はしますが、未だ財政危機的状況は覚め遣らずわずかに光が見えたとは言え前途は多難で薄氷踏む財政運営は延長すると思われる。 平成18年度経常収支比率97.6%、公債費負担比率29.3%、実質公債費比率30.2%といずれも県下最悪となっている。 ① 単年度バランスシートはどうか ② 道路特定財源の暫定税率の廃止の事態を想定されるが予算計上されたのか ③ 地域振興基金の運用は考慮されているか ④ 町債償還金707,088千円が計上されているが、繰り上げ償還等の内容はどのようなものか ⑤ 地産地消特産品振興に国の地方再生対策費を活用する考えはないか ⑥ 予算執行、企画立案に職員の提案制度を設け、効果的な事務事業推進のために若手職員サブチームを作り若手参画の機会を与える考えはないか
5	竹永 明文	※ 施政方針について 1. 財政再建中の本町における機構改革とは ① 副町長の位置付けと後任についての考えは 2. 高度情報化社会への対応について ① 地域の実情に見合った、「安全・安心」な暮らしを支える高度情報化社会とは 3. ケーブルテレビの整備及び地上デジタル放送移行について ① 財政難の折、どのような導入方法があるのか ② 設備に具体的にはどの程度の費用がかかるのか ③ 整備後の維持管理費はどの程度かかるのか ④ 町民の負担はどの程度かかるのか

6	佐々木周子	※保育所運営について 1. 施設の老朽化、園児の減少及び経費削減のため、黒坂保育所をひのっこ保育所に統合することになった。 共働き等で保育ニーズが多様化している現状を踏まえ、送迎の受付時間の変更等3項目の対応について具体的な取り組みが示されていない。 ①送迎の受付時間の変更について ②一時保育の取り組みについて ③病後児保育の対応について 2. 子育て支援室としてひのっこ保育所内に設置されているおひさまひろばの運営について ①平成19年度一年間の総括と今後の運営方針を問う ※黒坂保育所の跡地について 年間106万8千円の借地料を支払っていかなければならないが、財政再建には貴重な財源である。 ①早急に解決することが不可欠だと思うが、進捗状況はどうか
7	佐々木 求	※機構改革と副町長について 2月11日、12日付の新聞各紙の報道は、7月の機構改革と副町長職を残すかどうかを含めて検討する旨の報道であった。 ①7月に予定する機構改革の目的、方針、その理由を問う ②これまで、副町長職の果たしてきた役割と評価は ③副町長の今後のあり方の基本を問う ※「安心・安全なまちづくり」について 施政方針で6項目が示された。 ①「財政健全化」を進める中で、今後住民からの要望が強まることも考えられるが、過去のやり方、事業のあり方をどう変えるのか ②「身の丈」にあった行政を「住民合意」のもとで進めるためには、メリハリをつけた事業の重点化、事業の優先順位付けも重要になってくると考えられる。 どういう考え方や、手法で臨まれていくのか